

令和元年6月25日

中部地方整備局

## 民間活動に合わせた基盤整備調査を機動的に支援！

～令和元年度 第2回 官民連携基盤整備推進調査費の配分～

令和元年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業（官民連携基盤整備推進調査費）第2回募集分について、中部地方整備局管内から下記の支援箇所が決定されましたのでお知らせします。  
（詳細は別添2参照）

## 中部地方整備局管内の支援箇所

調査名	実施主体
下田港周辺における地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡県

## 配布資料

- 別添1 : 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要  
別添2 : 平成31年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第2回実施事業一覧<中部地方整備局管内分>  
参考資料 : 国土交通省（本省）プレスリリース資料（抜粋）  
※詳細は、国土交通省ホームページをご覧ください。

[http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09\\_hh\\_000092.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/kokudoseisaku09_hh_000092.html)

## 配布先

中部地方整備局記者クラブ、静岡県政記者クラブ、下田記者クラブ

## 問合せ先

中部地方整備局 企画部 広域計画課 課長 富田 直樹  
課長補佐 宮林 克行

TEL : 052-953-8129 FAX : 052-953-8294

## 事業概要

令和元年度予算額：331百万円

- 各地域の個性や強みを活かした特色ある成長を図るためには、民間の投資効果が最大限に引き出されるよう、民間の設備投資等と一体的に基盤整備を実施することが重要である。
- 官民が連携して実施する民間投資誘発効果の高い基盤整備や広域的な地域戦略に資する事業について、民間の意思決定のタイミングに合わせ、機を逸することなく基盤整備の構想段階から事業実施段階への円滑かつ速やかな移行を図るため、地方公共団体が行う事業化検討に対して調査費補助を行う。（平成23年度創設）

## 事業内容

【配分先】地方公共団体（都道府県・市町村等）

【補助率】1/2

【募集・配分スケジュール】年3回配分

区分	募集期間	配分時期
第1回	1月28日～2月8日	4月23日
第2回	2月28日～4月5日	6月25日
第3回	6月13日～7月5日	8月下旬

### 【支援内容】

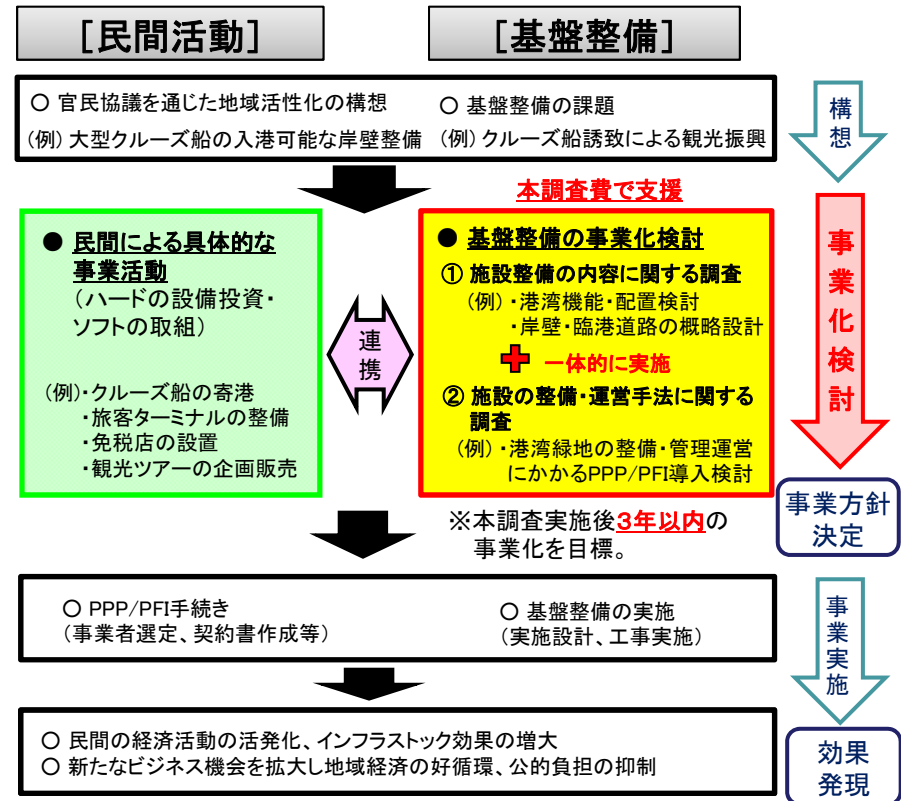
民間事業活動と一体的に行うことにより、優れた効果の発現や効率性が期待できる国土交通省所管の基盤整備※の事業化に向けた検討経費を支援

#### <調査内容>

- ① 施設整備の内容に関する調査  
 (例) 基礎データ収集、需要予測、概略設計、整備効果検討等
- ② ①で調査した施設の整備・運営手法に関する調査  
 (平成27年度拡充)  
 (例) PPP/PFI手法の選定、官民の業務分担、VFM算定等

※ 道路、海岸、河川、港湾、都市公園、市街地整備、空港等の公共土木施設

## 事業フロー



令和元年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第2回実施事業一覧 <中部地方整備局管内分>

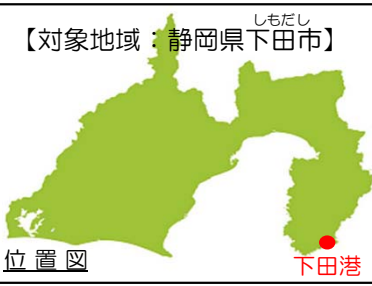
別添2

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額(千円)	
				事業費	国費
2 下田港周辺における地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡県	静岡県下田市	伊豆道の駅ネットワークによる陸のアクセスと海のアクセスを繋ぐ広域連携拠点の形成を目指す下田港周辺において、民間事業者による複合商業施設建設とスーパーヨット係留施設整備等に合わせて、スーパーヨットでの寄港需要の拡大と更なる海洋レジャーへの受け入れ体制強化のため、下田港におけるプレジャーボート係留の需要調査、プレジャーボートの係留施設の概略検討、PPP/PFIの導入可能性検討を行う。	20,000	10,000
計		1件		20,000	10,000

# 下田港周辺における地域活性化のための基盤整備検討調査

## 地域の特徴等

- 下田港周辺では、幕末に開国の舞台となった歴史的背景や海洋レジャーを活かしたまちおこしが進められており、毎年約20万人が訪れる「黒船祭」や国際的なカジキ釣り大会が開催される等、高い観光ポテンシャルを有している。
- 平成29年度には、港湾管理者や地元の自治体及び民間団体からなる協議会が発足し、下田のもつ歴史・文化・水産業・マリンレジャーなど様々な魅力を最大化する仕組み作りや実現に向けた計画について検討が進められている。
- 下田港周辺の取組により、下田市みなとまちゾーンが海の玄関口になるとともに、伊豆道の駅ネットワークなどによる陸のアクセスと海のアクセスを繋ぐ広域連携拠点の形成を目指す。



**(1) 社会的背景・状況の変化等（きっかけ）**

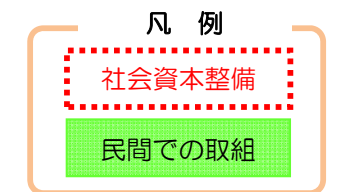
○平成29年度から「下田市みなとまちゾーン活性化協議会」が設置され、水域を含めた港周辺エリアを対象に、官民が連携した地域活性化策と課題解決について検討を開始。

○平成31年1月に「下田市みなとまちゾーン活性化協議会」において、官民が連携した受入れ体制の強化、海洋レジャーの拠点化による地域活性化の理念・方針が合意された。

**(2) 民間事業者の活動・新たな投資・予定**

- ・A社による複合商業施設建設とスーパーヨット係留施設整備の計画（令和3年度～）
- ・B社によるスーパーヨットの誘致（令和元年度～）
- ・漁協施設の建替（令和2年度～）を核とした周辺交流機能の再編
- ・下田市観光協会が道の駅の機能再編（令和2年度～）

密接な  
関連性



**(3) 基盤整備の必要性（現状の課題等）**

- ・スーパーヨットでの寄港需要が増大し、更なる海洋レジャーへの受け入れ体制強化が必要。
- ・プレジャーボートを収容する十分な係留施設がなく、プレジャーボートとスーパーヨットの輻輳が想定されるため、新たな係留施設の設置が必要。

**(4) 【調査内容】**

- ①下田港におけるプレジャーボート係留の需要調査
- ②係留施設の概略検討（静穏度解析、係留施設の構造形式の選定・安定性照査、概算事業費算出等）
- ③プレジャーボート係留施設の運営に係るPPP/PFIの導入可能性の検討

**(5) 民間の活動と一体的に整備する効果**

- ・官民が連携した受入れ体制の強化などの取組による下田市みなとまちゾーンの海洋レジャーの拠点化。
- ・伊豆道の駅ネットワークに代表される陸のアクセスと海のアクセスを繋ぐ広域連携拠点となる。



令和元年6月25日  
国土政策局広域地方政策課

## 民間活動に合わせた基盤整備調査を機動的に支援！

～令和元年度 第2回 官民連携基盤整備推進調査費の配分～

国土交通省は、2月28日(木)～4月5日(金)に案件募集をした「官民連携基盤整備推進調査費(第2回募集分)」について、別添1のとおり、地方公共団体が実施する5件の調査案件の支援を決定しました。

各地域の個性や強みを活かし、特色ある地域の成長を図るためには、官民が連携し、民間の設備投資等と官による基盤整備を一体的に行うことが必要です。

本事業は、官民連携による広域的な地域戦略に資する社会基盤整備を推進するため、民間の設備投資等と一体的に実施する基盤整備の事業化検討を支援するための制度です。

(配分先：地方公共団体、補助率：1/2)

### 【添付資料】

- ・別添1 令和元年度第2回実施事業一覧
- ・別添2 令和元年度第2回実施事業概要
- ・別添3 官民連携基盤整備推進調査費の制度概要

### 【その他】

- ・募集情報や過去の実施例等は以下をご覧ください。

国土交通省 HP 「官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業」

(<http://www.mlit.go.jp/kokudoseisaku/kanminrenkei.html>)

### 【問合せ先】

国土政策局広域地方政策課調整室

専門調査官 紙谷、成田、主査 植田

代表：03-5253-8111(内線 29-914、29-916、29-924)

直通：03-5253-8360

FAX：03-5253-1572

令和元年度 官民連携による地域活性化のための基盤整備推進支援事業 第2回実施事業一覧

別添1

調査名	実施主体	対象地域	概要	実施計画額（千円）	
				事業費	国費
1 下田港周辺における地域活性化のための基盤整備検討調査	静岡県	静岡県下田市	伊豆道の駅ネットワークによる陸のアクセスと海のアクセスを繋ぐ広域連携拠点の形成を目指す下田港周辺において、民間事業者による複合商業施設建設とスーパーヨット係留施設整備等に合わせて、スーパーヨットでの寄港需要の拡大と更なる海洋レジャーへの受け入れ体制強化のため、下田港におけるプレジャーボート係留の需要調査、プレジャーボートの係留施設の概略検討、PPP/PFIの導入可能性検討を行う。	20,000	10,000
2 JR常陸多賀駅周辺における交通結節機能強化のための基盤整備検討調査	日立市	茨城県日立市	ひたちBRTが本格運行を開始したJR常磐線「常陸多賀駅」周辺において、ひたちBRTの今後の更なるルート延伸を見据えた交通結節点としての機能強化とまちのにぎわい創出を図るため、民間事業者による駅舎改築や「ものづくりのまち」である日立市の技術力をPRする交流促進施設の整備等と合わせて、駅前広場、自由通路、アクセス道路等の整備に向けた基本計画の検討や概略設計、公共公益複合施設の整備、管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	17,600	8,800
3 山中湖村明神前交差点周辺における多機能型交通結節点基盤整備検討調査	山中湖村	山梨県南都留郡山中湖村	東京・山梨県方面から山中湖村へアクセスする玄関口であり、高速ネットワークの結節点となる山中湖IC周辺地域において、インバウンド観光客の拡大などを図るため、民間事業者によるバスターミナルに併設する複合施設の整備等に合わせ、バスターミナル機能を含む複合施設や多目的広場の整備計画策定、概略設計、PPP/PFI導入可能性検討等を行う。	19,032	9,516
4 JR茅野駅周辺における観光拠点形成のための基盤整備検討調査	茅野市	長野県茅野市	広域観光周遊ルート「昇龍道」の玄関口となるJR茅野駅周辺において、観光客を含めた駅周辺利用者の利便性・安全性を確保し、観光の玄関口として駅周辺の賑わい向上を図るため、民間事業者による登山客向けの更衣室やバス利用者の待合所の整備、観光案内所の機能強化等と合わせ、駅前広場、自由通路等の整備に係る基本計画や概略設計、駐車場の整備・管理運営に係るPPP/PFI導入可能性検討等を行う。	39,900	19,950
5 最上町における観光拠点形成のための基盤整備検討調査	最上町	山形県最上郡最上町	最上、庄内地域の広域観光周遊ルート「AMAZING MOGAMI」のルート上に位置する当該地域において、最上小国川を活用した観光拠点を形成するため、民間事業者による集客施設のリニューアルや観光案内所の設置等と合わせ、駐車場、休憩施設、情報発信施設、地域交流施設の需要予測、概略設計、PPP/PFIの導入可能性検討等を行う。	12,070	6,035
計		5件		108,602	54,301